

2010年度

科目名	臨床薬学 I				
担当教員	廣谷 芳彦、小川 雅史、名徳 倫明				
配当	薬科4			コード	42620
開期	前期	講時	木曜日2限	単位数	2
授業テーマ	【必修】薬剤師職務に必要な基本的な知識を学ぶ。				
目的と概要	病院及び薬局における薬剤師業務の実際を知り、薬学の基礎知識を臨床における薬剤師業務にどのように関連づけるかを総合的に学ぶ。一般目標は、医療における薬剤師の役割を認識し、日常の薬剤師業務の概要を把握した上で、薬学の知識を調剤などの臨床業務に活用する能力(実践的知識)を身につける。主に、薬剤師業務の基本である調剤および調剤関連業務として薬剤管理指導業務について基本事項を学ぶ。				
成績評価法	学期末テストの成績(80点)、平常点(10点)、レポート(10点)を総合的に評価する。				
テキスト	6年制対応教科書「調剤学」/栄田敏之編/廣川書店 第12改定「調剤指針」/日本薬剤師会編/薬事日報社				
参考書	「ビジュアル薬剤師実務シリーズ1、2、3、4」/上村直樹ら編集/2008/羊土社 日本薬学会編スタンダード薬学シリーズ10「実務実習事前学習」/旭 満里子他著/東京化学同人 「調剤学総論」/堀岡正義著/南山堂				
履修に当たっての注意・助言					
講義計画					
回数	授業形態	授業内容	到達目標(SBO)	コア対応番号	学習領域
1	講義	医療における薬剤師の使命と倫理	医療における薬剤師の使命や倫理などについて概説できる。	D I (1)	知識
2	講義	薬剤師の位置づけと役割	医療の現状をふまえて、薬剤師の位置づけと役割、保険調剤について概説できる。	D I (1)	知識
3	講義	チーム医療の概説	医療チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を説明できる。	D I (1)	知識
4	講義	チーム医療における薬剤師の役割	チーム医療における薬剤師の役割を説明できる。	D I (1)	知識
5	講義	医薬分業のしくみと意義	1. 医薬分業のしくみと意義を概説できる。	D I (1)	知識
			2. 医薬分業の現状を概説し、将来像を展望する。	C18(3)	知識
			3. かかりつけ薬局の意義を説明できる。	C18(3)	知識
6	講義	地域薬局の役割	1. 地域薬局の役割を列挙できる。	C18(3)	知識
			2. 在宅医療および居宅介護における薬局と薬剤師の役割を説明できる。	C18(3)	知識
			3. 学校薬剤師の役割を説明できる。	C18(3)	知識
7	講義	処方せんの法的位置	1. 処方せんの法的位置づけと機能について説明できる。	D I (2)	知識
			2. 処方オーダーリングシステムを概説できる。	D I (2)	知識
8	講義	処方監査と疑義照会①	疑義照会の意義について、法的根拠を含めて説明できる。	D I (3)	知識
9	講義	処方監査と疑義照会②	1. 代表的な医薬品について効能・効果、用法・用量を列挙できる。	D I (3)	知識
			2. 代表的な医薬品について警告、禁忌、副作用を列挙できる。	D I (3)	知識
10	講義	処方監査と疑義照会③	1. 代表的な医薬品について相互作用を列挙できる。	D I (3)	知識
			2. 疑義照会の流れを説明できる。	D I (3)	知識
11	講義	薬剤師業務での事故事例	薬剤師業務の中で起こりやすい事故事例を列挙し、その原因を説明できる。	D I (5)	知識
12	講義	誤りを生じやすい投薬例	誤りを生じやすい投薬例を列挙できる。	D I (5)	知識
13	講義	服薬指導の意義	服薬指導の意義を法的、倫理的、科学的根拠に基づいて説明できる。	D I (2)	知識

14	講義	服薬指導における基本事項	患者の基本的権利、自己決定権、インフォームドコンセント、守秘義務などについて具体的に説明できる。	D I (6)	知識
15	発表と討議	総括と討論	1. まとめ	D I (6)・独自	知識
			2. 薬剤師業務の役割について討議する。	D I (6)・独自	態度
授業方法					
一般目標	学習方法	場所	教員数 (補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
D I (1,2,3, 5)	講義	講義室	3	パワーポイント、配布資料	90 x 14
独自	講義・全体討論	講義室	3	パワーポイント、配布資料、学生レポート	90 x 1